

いつも、
池田銀行をご利用いただきまして、
ありがとうございます。



頭取 服部 盛隆

第87期のご報告を申し上げます。

①本業は順調に推移しております。

預金は個人預金を中心に年間626億円(年率2.8%)増加し、貸出金は事業性貸出を中心に年間662億円(年率4.1%)増加しました。

コア業務純益は、諸施策の取組みの結果、予想比+29億円の179億円となりました。

②世界規模での金融市場の大混乱により、当行の保有有価証券も甚大な影響を受けておりますが、健全性を重視した厳しい基準により減損処理を行うことに加え、更なる景気悪化に備えて予防的な不良債権の引当処理を実施しました。

その結果、誠に遺憾ではありますが、保有有価証券の減損処理353億円を含め、372億円の損失を計上することとなりました。

③しかしながら、保有有価証券の含み損をほぼ一掃し、簿価を大幅に引き下げ、更には250億円の優先株式発行により、いち早く強固な財務基盤を実現しました。

健全性の指標である自己資本比率は9.55%と、国内基準を大きく上回っております。

本年5月25日には、平成21年10月1日(予定)に泉州銀行と経営統合することに合意しました。

お客さまのため地域に根ざした“独立系”の強みをいかし、“地域経済の活性化”に努め、“経営の効率化”を進めてまいります。

引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月